

麻しん（はしか）にご注意ください！

全国的に麻しんの患者が増加しています。広範な地域で流行する可能性がありますので、ご注意ください。

麻しんとは？

麻しんは、麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。感染力はきわめて強く、症状は、高熱、発疹が特徴です。特に乳幼児がかかった場合は、重篤な合併症で死亡する例も少なくありません。



日本はWHOから「麻しん排除国」として指定されていますが、近隣の国々では、まだまだ日常的に発生しています。

ワクチンを接種していない人がそれらの国へ出かけた場合に、現地で感染し、帰国後に国内で感染を広げるケースが見られています。

いろいろな地域から、旅行者が日本にやって来る現代社会では、それらの人を通して、感染症が持ち込まれる事例が増えています。



こんな症状が出たら？

麻しんウイルスに感染後、約10日～12日の潜伏期間を経て発症してきます。

発熱、発疹、咳、鼻水、眼の充血等の症状がでた場合は、麻しんを疑って、あらかじめ医療機関に電話連絡してから、速やかに受診してください。



感染を拡大させないために、みなさまのご協力をよろしくお願い致します。



医療法人医徳会 **真壁病院**